

# 鶴巻温泉源泉活用の具体的な取組みに関する報告書



平成23年12月12日

鶴巻温泉源泉活用検討会

鶴巻温泉源泉活用検討会（会長：原秀夫）が平成22年8月から平成23年11月にかけて、鶴巻温泉街再活性化構想に基づき、源泉活用に関する具体的な取組みについて検討した結果を次のとおり報告する。

## 【源泉活用の具体的な取組みについて】

### 1 温泉施設の整備について

温泉施設の整備にあたり考慮すべき事項、シンボル性や回遊性といった温泉施設の位置付け、整備が期待される具体的な温泉施設について取りまとめた。

#### (1) 温泉施設の検討にあたり考慮すること

- ア 季節、気候等に影響されないこと
- イ 視認性や利便性が良いこと
- ウ 地域住民や観光客が親しみやすいこと
- エ 鶴巻温泉を代表するシンボル(象徴)となること
- オ 地域年間行事等に影響がないこと
- カ 安心、安全が確保されること
- キ 維持管理、運営ができること
- ク 回遊性が見込めること

#### (2) 温泉施設の位置付け

##### ア シンボル性

新源泉「つるまき千の湯」を活用し、鶴巻温泉のイメージアップに貢献するもので、視認性や話題性により誘客が図られ、地域活性化の起爆剤として期待できる。

##### イ 回遊性

温泉施設、温泉街、商店街、観光資源等との連携により、観光客による鶴巻地区全体の回遊性が促進され、複合的な効果が期待できる。

#### (3) 具体的な活用について

鶴巻温泉の魅力を向上させるため、新源泉「つるまき千の湯」を活用した特徴ある温泉施設等を整備することで、温泉地としての鶴巻温泉のイメージアップを図り、観光客の誘客を通して、温泉街・商店街・観光資源の再活性化を促進する。

##### ア 具体的な温泉施設

###### (7) 足湯

鶴巻温泉のシンボル（象徴）として、視認性や誘客効果が高く、地域に親しまれる施設として足湯を整備する。

【候補地】

鶴巻温泉駅北口広場、つるまき北公園、弘法の里湯、陣屋駐車場等

(イ) 手湯（モニュメント）

温泉街・商店街・観光資源の回遊性を促す取り組みとして、鶴巻温泉駅北口周辺の拠点に手湯を整備する。

【候補地】

鶴巻温泉駅前、西光寺、清水左近源隆碩の墓、梵天、和田義盛公別邸跡、鶴巻公民館入口、常夜燈、大和旅館等

【形態】

モニュメント（七福神、鶴等）、手湯

【その他】

スタンプラリー実施

(ウ) せせらぎ空間（湯けむり）

既存旅館が立ち並ぶ温泉街を中心に、温泉情緒を醸し出すせせらぎ空間（湯けむり）を整備する。

【候補地】

梵天荘～陣屋～大和旅館～弘法の里湯等

【その他】

道路側溝の活用等

(E) 温泉スタンド（給湯所）

新源泉が気軽に楽しめる施設として温泉スタンドを整備する。

【場所】

鶴巻温泉街再活性化構想の区域内に設置

※ 新しい温泉施設については、各温泉施設の候補地を参考に、適切な場所を選定する。

## 2 希望する温泉旅館への配湯について

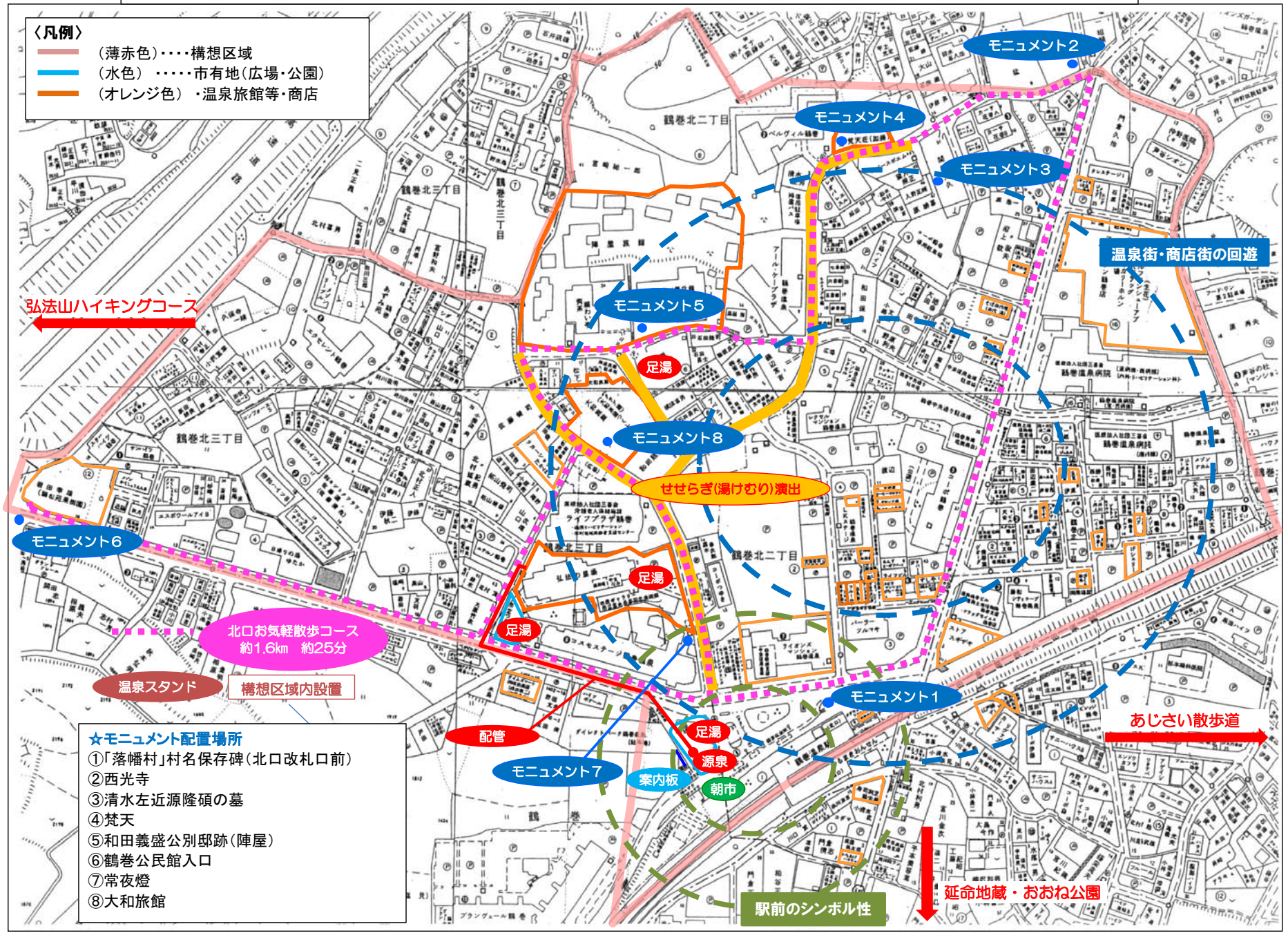
鶴巻温泉街の古き良き伝統と文化、風情を醸成する拠点として、温泉街の回遊性を促進するため、希望する温泉旅館に対し、可能な範囲で配湯する。

## 3 温泉施設等の用地確保について

鶴巻温泉街再活性化構想の区域内には公共用地が少ないことから、温泉施設等を整備する際、必要と思われる民有地については、同構想に定められた目標を達成するため、用地確保も視野に入れて対応する。

温泉施設の候補地について（案）（鶴巻温泉街再活性化構想区域）

- 〈凡例〉
- （薄赤色）……構想区域
  - （水色）……市有地（広場・公園）
  - （オレンジ色）・温泉旅館等・商店



- ★モニュメント配置場所
- ①「落幡村」村名保存碑（北口改札口前）
  - ②西光寺
  - ③清水左近源隆碩の墓
  - ④梵天
  - ⑤和田義盛公別邸跡（陣屋）
  - ⑥鶴巻公民館入口
  - ⑦常夜燈
  - ⑧大和旅館